

ふれあい

令和5年8月

第82号

会員数 694人（男452人 女241人 未回答1人） 令和5年8月1日現在

目次

- ・令和5年度定時総会……………P 2・3
- ・インボイスってなに?……………P 4・5
- ・会員のひろば……………P 6・7
- ・事務局だより……………P 8

草津市水生植物公園から見える琵琶湖



発行／公益社団法人 草津市シルバー人材センター 広報編集委員会

〒525-0005 草津市志那町2554番地1 TEL (077)568-8881 FAX (077)568-8883

ホームページアドレス <https://webc.sjc.ne.jp/kusatsu/> eメールアドレス kusatsu@sjc.ne.jp

令和五年度 定時総会



5月25日
(木) 午後1時30分から、

草津市立アミカホールで、令和5年度公益社団法人草津市シルバー人材センター定時総会を開催しました。今年、4年ぶりに来賓をお迎えし、草津市副市長の山本芳一様、草津市議会議長の中嶋昭雄様、草津市環境経済部長の田中三男様に御臨席いただき、山本副市長様に御挨拶をいただきました。

総会は、会員679人のうち100人が出席、委任状による議決権行使が455人の計555人の参加を得て、成立しました。

当日は、前理事長として貢献された立花徹也会員ならびに10年にわたり副理事長等の役員として御活躍された久米啓之会員に感謝状を贈呈

し、20年在籍会員9人、10年在籍会員37人の皆さんの表彰を行いました。
その後、議事に入り、令和5年度の事業計画など4件の報告を行い、令和4年度の事業報告など3件の議案を審議の結果、すべてについて承認可決しました。

報告

- ◎ 報告第1号 令和4年度収支補正予算
- ◎ 報告第2号 令和5年度事業計画
- ◎ 報告第3号 令和5年度収支予算
- ◎ 報告第4号 プラチナ会員運用規程の一部改正について

議案

- ◎ 議案第1号 令和4年度事業報告について
- ◎ 議案第2号 令和4年度収支決算について
- ◎ 議案第3号 役員を選任について

報告第4号は、プラチナ会員への移行手続きについての改正です。これまで、正会員のプラチナ会員への移行は、理事会の承認事項でしたが、これを簡素化して理事長の承認事項とし、直近の理事会に報告することに変更したものです。これは、プラチナ会員への移行手続きを、正会員の入会承認手続きと同じにした改正です。

プラチナ会員運用規程第6条に「この規程の改廃は、理事会において決定し、総会に報告するものとする」とありますので、令和5年4月28日開催の理事会で決定されたものを、今回、定時総会にて報告したものです。

定時総会あいさつ

理事長 山本 康次良



皆さま、お元気で御活躍のことと存じます。今日、ここに令和5年度定時総会を開催する運びとなりました。

日頃は、当センターの運営にあたり御理解と御協力をいただき厚くお礼を申しあげます。さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年余り、行動制限を余儀なくされてきました。しかし、先日の5月8日から、感染症対応が、2類相当から5類へと移行しました。季節性インフルエンザと同等の扱いとなり、行動制限も大幅に緩和されますが、当センターは高齢者主体の組織であるため、マスク着用や手指の消毒など、皆様の御協力をいただきながら、適切な感染防止対策に努めてまいりたいと考えております。

コロナ禍は、当初、センター業績に大きなマイナスの影響を与えましたが、その後、少しずつ盛り返してきております。そうした中、特に会員数は、令和4年度の一年間で17人、2.5%も増えて695人となり、ついに700人を窺うところまでできました。たいへん喜ばしいことと存じます。

しかしながら、コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や円安による物価の高騰、さ

らに、フリーランス新法や今年10月から導入される消費税インボイス制度への対応など、シルバー人材センターは、厳しい経営環境にさらされています。

今後、こうした社会状況を見据えながら、就業率の向上や会員数の拡大等を目標に掲げ、目前に迫る超高齢化社会にあっても、就労意欲のある高齢者が「生涯現役」として生き生きと輝くことができるシルバー人材センターを目指してまいります。

会員の皆様並びに関係機関の皆様方におかれましては、今後とも御指導・御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



お祝いのメッセージ

草津市長 橋川 渉



令和5年度公益社団法人草津市シルバー人材センター定時総会の開催にあたりまして、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

日頃は、市政各般にわたり格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、高齢者に対する就業機会の確保や提供を通して、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図られ、地域社会の活性化に貢献されているところであります。

り、理事長様をはじめ、役員の方々、会員の皆様方の御尽力に対し、深く敬意を表する次第でございます。

さて、人生100年時代を迎える中、本市の65歳以上の人口は、3万1千人を超えており、その割合は約22%を占めております。今後更なる高齢化が想定されるため、より一層の高齢者の住みよい社会づくり、生きがいづくりが求められております。

貴センターの活動は、会員の皆様方が培ってこられた豊富な経験や知恵、技術を活かしながら皆様方自身が活躍することで、生きがいを見出すことを可能にしております。

皆様方の取組は、地域活動やボランティア活動への参加、就労等、高齢者の様々な生きがいづくりに取り組む本市の方向性とも深く関わっており、これからも貴センターの果たされている役割は大変重要なものと考えております。本市といたしましても、さらに暮らしやすく、幸せを実感していただけるようなまちづくりを目指して、生き生きと働く皆様と共に、喜びを分かち合える市政を推進してまいりたいと考えておりますので、より一層の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、公益社団法人草津市シルバー人材センター様のますますの御発展と、本日お集りの皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

役員交代のお知らせ



志津地域班選出の理事が田中啓補さんから山元喜八さんに交代し、定時総会で承認されましたのでお知らせします。

山元理事は、安全就業適正委員会に所属され、任期は、令和6年の定時総会までです。

安全大会開催

5月25日、定時総会の終了後、「安全大会」を開催しました。

滋賀労働局から地方産業安全専門官の小山さんを招き、『高齢労働者が安心して作業できる職場に』と題して講演をいただきました。



高齢者には、墜落や転落、転倒災害の割合が高い事とその防止、熱中症予防、全国的にシルバーでの事故が多い剪定や刈払機を使つての草刈業務での注意事項などを学びました。